



共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT)
発足記念 公開シンポジウム

～「人が変わる」「大学が変わる」「社会が変わる」
"未来のありたい社会"を実現する産学官の共創～

COIプログラムからCOI-NEXTへ 今後の期待

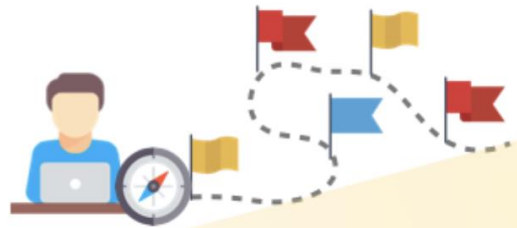
2021年6月16日

COI V2ビジョナリーリーダー
若手連携研究ファンド/若手デジタル審査会座長

小 池 聡

社会課題
ビジョン

社会実装



Incubator



Accelerator

VLがPOとして伴走支援

マネジメント
チーム組成

ビジョンの明確化

環境変化への対応
Digital Transformation

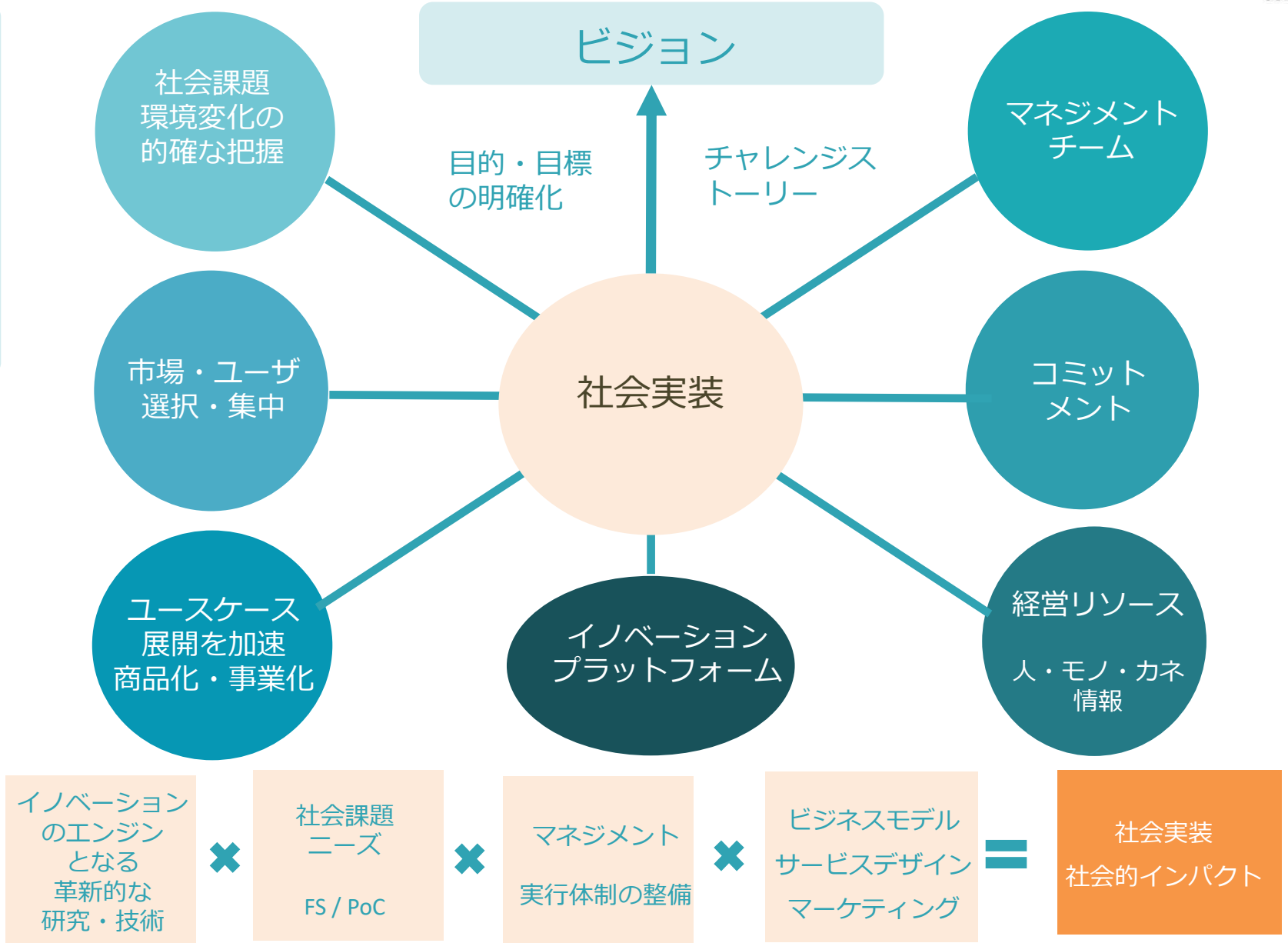
ビジョン設定と
バックキャスト

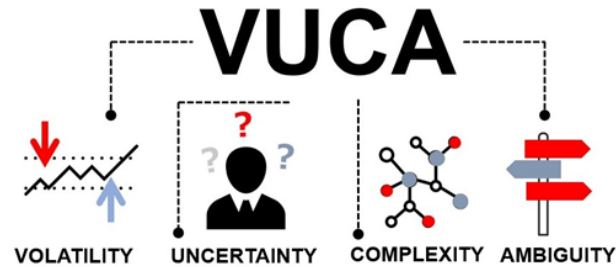
テーマの選択・集中
KPI

イノベーション
プラットフォーム

バックキャスト

アンダーワンルーフ





VUCA 変化が激しく不安定、不確実、複雑、不透明で曖昧な、

「先が見えにくい時代」

社会の劇的な変化と科学技術の目覚ましい発展

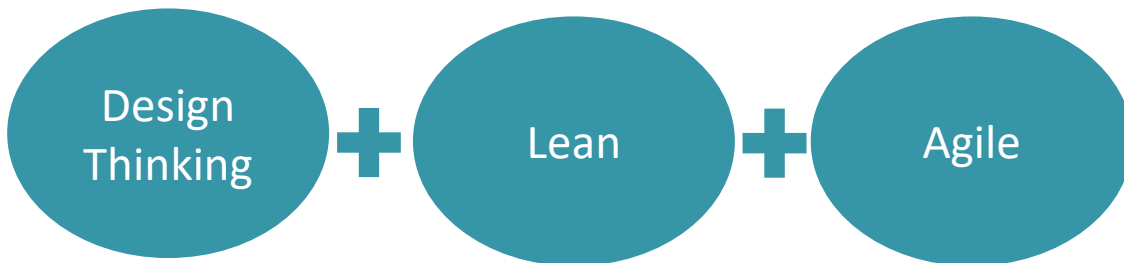
気候変動・自然災害・高齢化・健康寿命・COVID-19
人々の意識や感情、行動、価値観、倫理、道徳に大きな変化

いままで不可能であったことが実現できるだけでなく
これまで想像もしなかった製品やサービスまでも考えなければならない

Wicked Problem : 明らかになっている問題を解決するのではなく、何が問題かわからない問題の解決が必要
問題を「**解決**」してきた時代から、問題を「**発見**」する時代へ

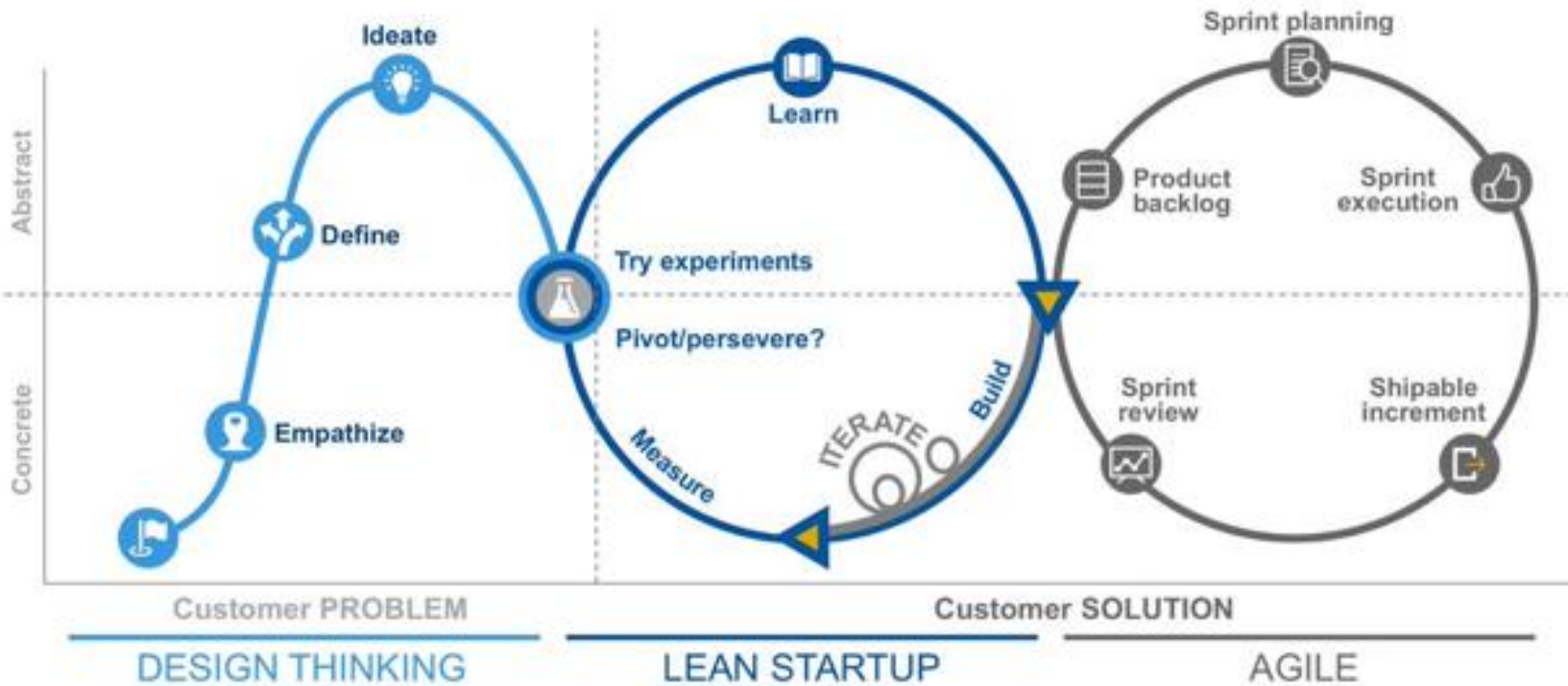
	ありたい姿 あるべき姿	課題	ソリューション
Simple Problem	合意形成された正解がある	原因がある	解決方法がある
Complex Problem	合意形成された正解がある	複数の複雑な原因がある 複雑でも整理できる	工夫と技術革新により 解決方法がある
Wicked Problem	そのそも正解が存在しない	問題を定義することが困難 問題が複雑に絡み合っている	問題もソリューション も明確でなく、定義し ている間に化する

従来の考え方（解釈・ソリューションの枠組み＝フレーム）から
離れて、新しい視点・発想でリフレーム(REFRAME)する



- 。 仮説検証・ラピッドプロトタイプ
- ・ ユーザーリリース・フィードバック
- ・ 継続改良・スパイラル
- ・ ユースケース・顧客体験
- ・ ストーリー・価値観の共有

Combine Design Thinking, Lean Startup and Agile



#GartnerSYM

21 CONFIDENTIAL AND PROPRIETARY © 2018 Gartner, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved. Gartner and ITyp are registered trademarks of Gartner, Inc. or its affiliates.

■ 設定したビジョンのベクトルに正しく進む
move in the RIGHT DIRECTION

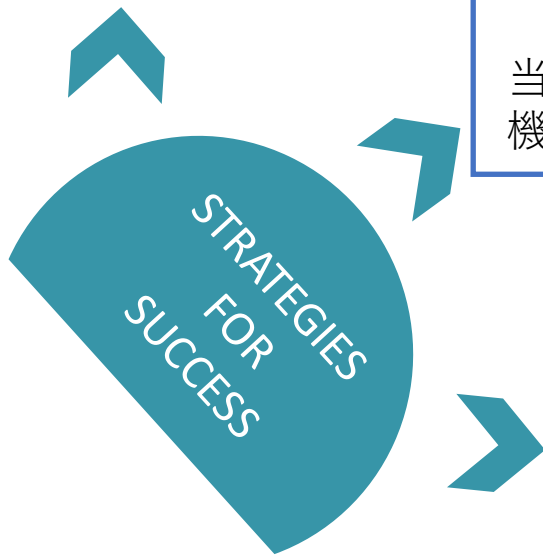
研究テーマやサテライトのベクトルがバラバラになっていないか？

■ 時代の変化や困難に弾力性を持つ
build RESILIENCE

当初計画が環境の変化や技術の進歩に柔軟に対応できているか？
機動的に計画の変更やPIVOT（方向転換）する勇気

■ 価値が提供できているか常に確認
provide VALUE

社会課題に対する価値提供になっているか？
技術の押し売りになっていないか？



東京工業大学では、プログラム開始時において「『以心電心』ハピネス共創社会」を目指して推進。

第1回中間評価

思い切った刷新
PIVOT

2018年から新体制下で、拠点内で議論、VL面談を繰り返し実施し「目指すべき将来の姿」の刷新、バックキャストによる研究開発を実施

拠点ビジョン： “地球インクルーシブセンシング”が目指す社会

革新的なIoT/AIセンシング技術を創出し

「人々が、今まで気づいてこなかった地球社会の声に共感して
持続的な地球との共生のために行動し貢献できる社会」
を目指す

新体制（2018. 4～）



廣井 PL

ソニーの現役R&D部門長
が自ら拠点ビジョンを策定
しCOIにコミット



若林 RL

東京工業大学
工学院教授



益学長

サイトビジットへの参加
大学としてのコミットメント

ビジョンの明確化、それに伴うテーマの選択と集中に向けた取組

従来の「全世代スーパー日本人育成拠点」から、乳幼児、及びPostCOIにフォーカス

選択と集中
FOCUS

選択と集中（全世代から乳幼児とPostCOI）

全世代への各種ソリューション

ソリューションモデル			子ども		働く世代		高齢者	
1 乳幼児の快眠 双方向性アプリを用いたオンライン睡眠介入法 脳の発達に必要な乳児期の睡眠や覚醒形成について、スマホアプリを通じて早期発見し、適切な介入につなげる ⇒ADHD児や育児うつを軽減	2 自閉症児の社会性向上 幼児用MEGによる脳機能評価と早期介入法 発達障害（自閉症）を早期発見、早期介入法により社会性を身につけることで能力を発揮して活躍できるようサポートする ⇒社会的不適応を軽減し自立と個性の発揮を促す	7 学習意欲を高め能力UP 3Dモニターによる見える化と課題意識向上・学習成果 教育現場での子どもたちのコミュニケーションの全体像を見える化し、主体的・対話的で深い学びを実現 ⇒学習意欲を高めて子どもの能力向上	3 ストレスへの対処 ストレスを脳活動測定とストレスバランス介入法 手軽にストレスを計測し、脳の状態に応じて脳の活性化やリラックスをコントロール ⇒ストレスに対処できる身体づくり	4 無意識下での能力改善 ワーキングメモリ評価方法とニューロフィードバック法 脳活動を強化するニューロフィードバック技術を活用した学習システム構築 ⇒英語リスニング能力の向上	5 腸内環境の検知・改善 腸内フローラ特定トイレと腸内フローラ改善サプリ 腸環境を自宅のトイレで手軽に計測。AI技術により専門家の適切なアドバイスを受けられる。 ⇒免疫力の高い健康な体	6 酸化ストレス性疾患予防 シリコン微細粒子による体内水素発生法 腸内で水素を発生させ、ヒドロキシルラジカルを抑制 ⇒酸化ストレスが原因のアルツハイマー認知症、慢性腎不全、うつ病などを予防		

全世代から乳幼児期にフォーカス ～投資対効果も高い～



大阪大学としてのPost COI 重点テーマの一つに

- 水素（H₂）は、生体内で容易に拡散してヒドロキシルラジカルによる細胞死を抑制（日本老年医学会雑誌 49巻 6号）
- 水素の効果に注目。効率よく水素を吸収するには腸内水素発生

②
水素
(H₂)

マネジメント
HEAD HUNT

CEO =

PL



RL

= CTO

広島大学では、今後の拠点発展を鑑み、2019年より以下の**新体制下で活動**。



農沢 前PL

越智学長 山脇 前RL

PL/機構長に
吉田氏をヘッドハント
元VAIO社長、元日本ビクター社長



笹岡RL

従来、ポジティブに関する研究を進めてきたが、新PL・RLのもとで**2019年度よりポジティブ・ネガティブ感性研究の融合**により、感性の統合的理解を推進。

広島県と広島大学ですすめるメンタルヘルスマネジメントへの実装検討開始。

東京藝術大学では、今後の拠点発展を鑑み、2018年より以下の**新体制下で活動**。

山本 PL

JVCケンウッドで経営
企画部長、ブランド
戦略広告宣伝部長
を歴任



桐山 RL

特任教授
宮廻 前RL



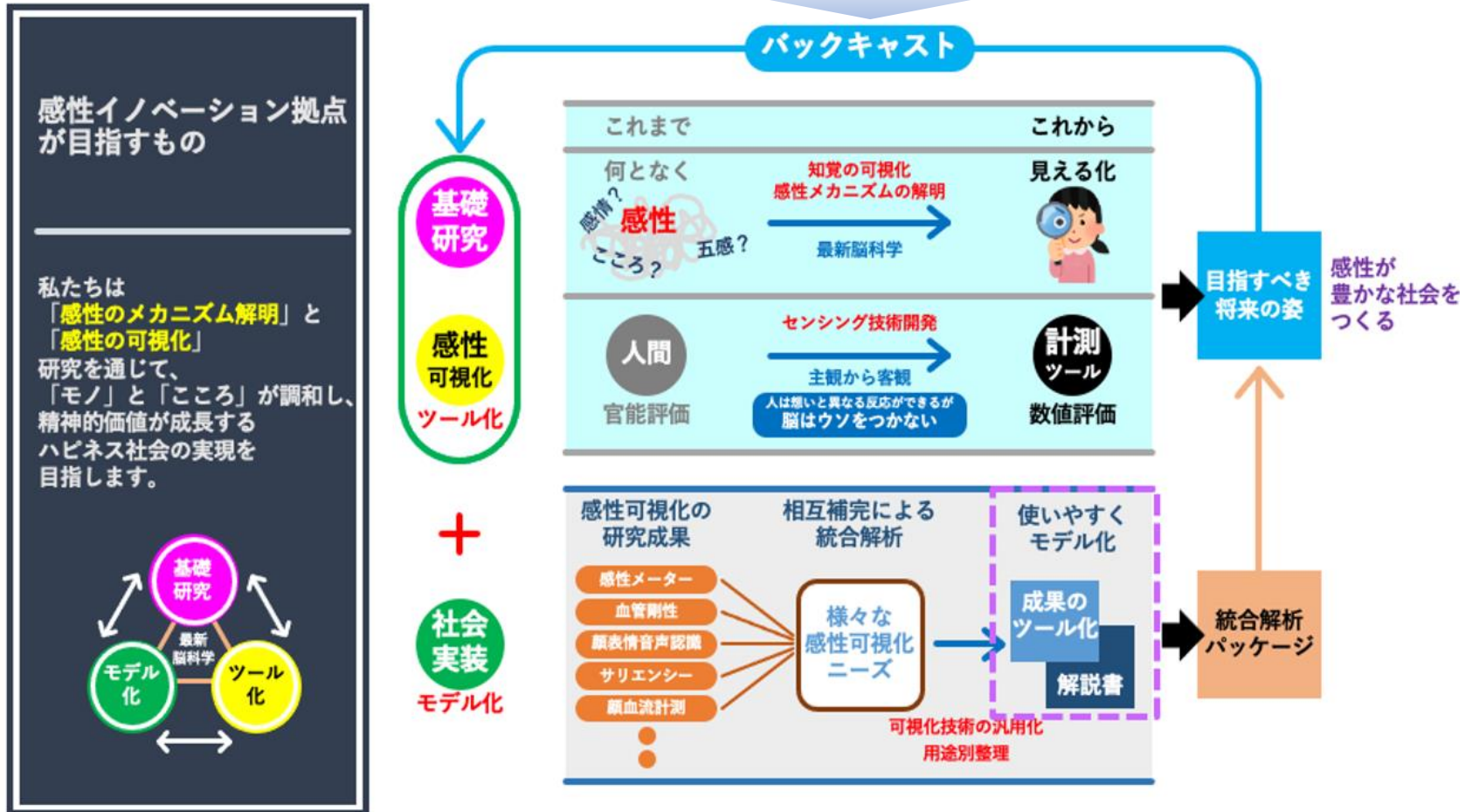
澤学長

COI定例連絡会
議に学長自ら毎
回出席



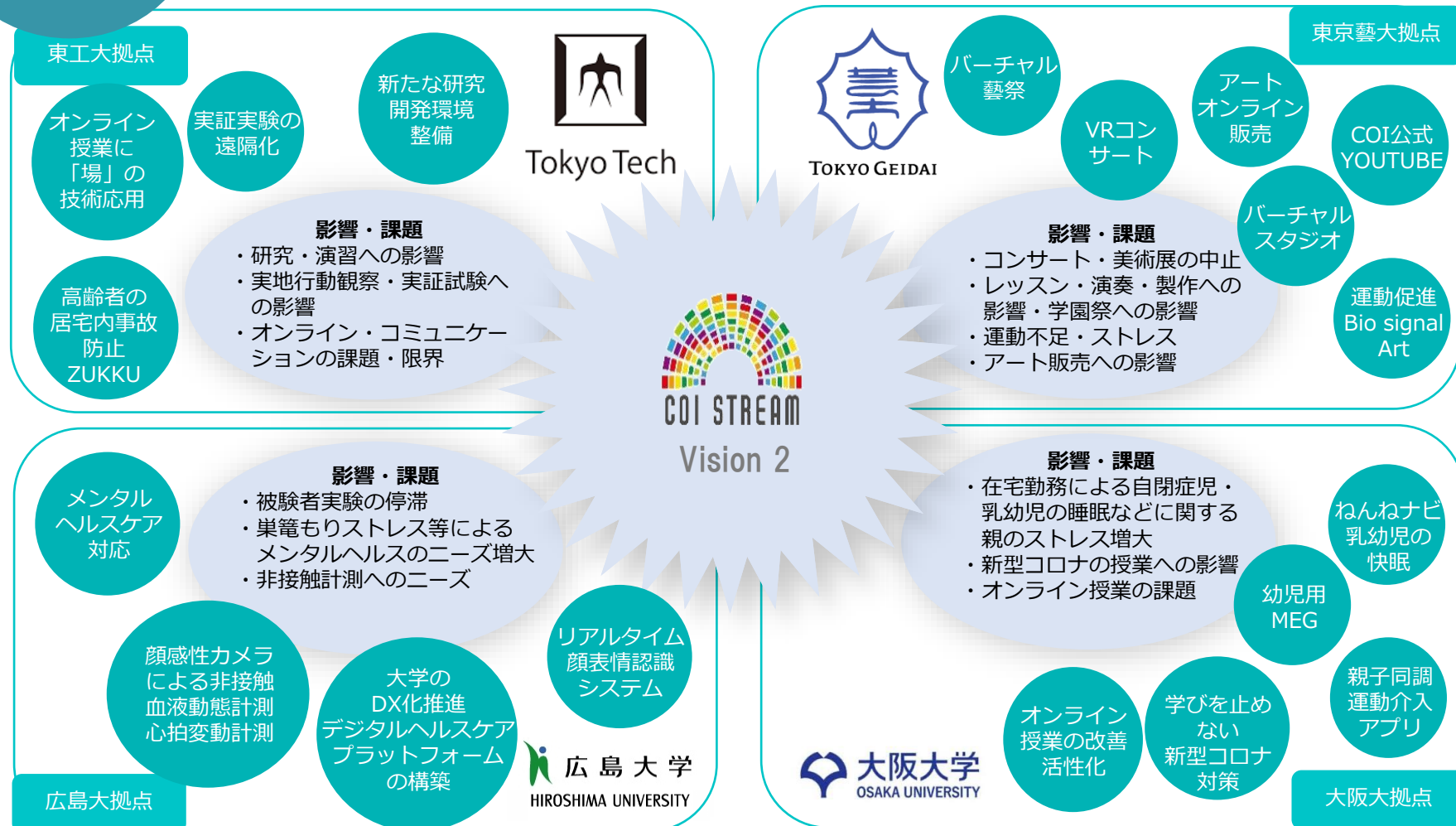
社会実装
PACKAGING
TOOL

広島大学拠点では「感性が豊かな社会をつくる」将来の姿をバックキャストして**基礎研究**をもとにした感性可視化の研究成果を「**ツール化**」、さまざまな感性可視化のニーズをツールの相互補完により統合解析、その成果を使いやすくモデル化し、「**統合パッケージ**」とそいて社会実装を促進



WITH/AFETR CORONA DX

素早い課題への対応 と 思い切った計画変更を含む変化への対応、DX化の推進





COI OSを
インストールした
若手の活用

ビジョン間・拠点間
横串による
連携

若手の
積極的参画
モチベーション

社会実装に向けての
ベンチャー創出

若手人材の活躍によるCOI活性化・横串連携と
社会実装に向けての事業化推進

COI2021会議の開催



若手の本音を引き出す

COI若手部会の設置
(自主企画・活動)



自分事として取り組む

若手連携研究
ファンド創設

拠点横断的連携研究支援

若手デジタル
創設

若手の海外連携研究支援

COI ベンチャーズ



CIDRE INTERACTION DESIGN



MeDaCa
メディカルデータカード株式会社



Future Ink
株式会社フューチャーインク



RT.WORKS
Encore Smart
第二の人生を豊かにするロボット技術

TEAM AIBOD



AccuRna



iSSS 一般社団法人 良質睡眠研究機構
睡眠障害科学の最先端から最先端へ



Lily MedTech
「乳がんと闘う、この言葉のない世界を想像して」



WALK-MATE LAB



ARTS INNOVATION PROJECT



Vegea

株式会社フラスク



一般社団法人
電子連絡ノート協会
Networks, Information Management of Note



DLM
D-lightmaker
ソフトウェアの未来を創る
株式会社ディライトメーカー

HAIFC株式会社



Tier IV
Intelligent Vehicles



beagle
医療現場をつなぐ、もっと安心な社会へ。



PGV
Perceptual Gratitude & Voyage

「株式会社京都 SPACE GAMMA」



SHC Design
Practices through 3D technologies.

株式会社ブレイゾン・セラピューティクス



HDL
Human Detectors Lab.



COI以前の多くの研究者の姿勢（～2013）

基礎研究にのみ強い興味、論文執筆、社会実装の動きへのある種の拒否反応



COI マインドOS（2013～2022）

現COIプログラムで培われた、（COI関連研究者における）社会実装・異分野融合・産学連携への積極的な姿勢・意識



各大学におけるCOI マインドOSの浸透・波及（2022）
COI若手研究者が各大学で長期に活躍することで、周囲の意識を改革
COI テニユアの検討

COI「革新的なイノベーションを連続的に創出するイノベーションプラットフォームを我が国に整備すること」→ COI-NEXT COIマインドOSの継続・波及は最も重要

共創の場（COI-NEXT）への継続性